

グッとくる Good design の本

魅力的なデザインは人の心をグッと惹きつけます。今回は本を開くと魅了されるようなデザインを取り上げた本を紹介します。

1冊目は、水野久美/著 アフロ/写真『世界のアーケード』です。

表紙に取り上げられているイタリアのガレリアと呼ばれるアーケード。どこか見覚えがありませんか？19世紀のイタリア・フランスの都市部で流行したデザインですが、実はこのガレリア、高松市の丸亀町商店街のモデルとなった建築物です。現代のショッピングモールなどでも取り入れられ、建築物として注目され続けている歴史の長いデザインでもあります。

ガラス張りの高い天井に芸術性の高い外観。そしてどこか懐かしさを感じさせる空気。レトロ・モダンなデザインが特徴のアーケードは現代でも世界中に多く存在しています。この本は魅力あふれる世界のアーケードを取り上げた写真集です。

芸術建築として評価されている荘厳なデザインのものから、明るくポップなデザインのもの、現地の生活を感じるくつろぎのデザインなど、様々なデザインのアーケードが取り上げられています。本を開いて魅力的なデザインの世界を堪能してみてはいかがでしょうか。

2冊目は、グラフィック社/出版『足の下ステキな床』です。

本を開くと目に飛び込んでくるのは、外国さながらのレトロ可愛い床。色とりどりの個性的な柄、凝ったタイルなどレトロ好きにはたまらないデザインが多く掲載されています。

この本の魅力は、床の柄のみをデザインと捉えず、撮影者の靴もデザインの一部としているところです。床と一緒にさりげなく写りこむ撮影者の靴。靴が写りこむことによって、床だということが分かりやすく、撮影者と読者の視点が重なり、まるで自分がその床の上に立っているかのような錯覚に陥ります。また、それぞれの床の良さを活かし、アクセントになる靴を撮影に使用している工夫がみられ、制作者の床への愛とデザインへのこだわりを強く感じます。

何気なく歩いているところに、実は素敵なデザインが隠れているかも。普段は見逃しがちな足元に広がるデザインを探してみようかなと思うことが出来る1冊です。

3冊目は、ingectar-e/著『かわいい色の本 デザインと言葉の配色ブック』です。

同じ絵柄でも、配色や色味を変えるとその印象はがらりと変わります。この本はテーマごとに配色からイメージされる言葉が添えられており、そのイメージからイラストやアクセサリー、広告など様々なデザインの参考に出来るよう作られた画期的な本です。

テーマ自体は Cute や Natural, Pop など分かりやすいものですが、配色を表す言葉が「まろやかなバスタイム」「大人ロマンティック」「スイングするジュークボックス」など一見すると連想し辛いものばかり。しかし、該当ページをめくると、デザインと言葉が絶妙にマッチしていて面白いぐらいに納得がいきます。テーマごとに同じ絵柄で配色デザインを変えているので比較もしやすく、見る人に「かわいい!」と思わせ、目に留まるような惹きつけるデザインのアイデアがこの1冊に凝縮されています。ものづくりをされる方や配色・柄のテキストスタイルを眺めるのが好きな方などにおすすめの1冊です。

図書館には、他にもデザインに関する本があります。ぜひご利用ください。